

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

- 特集1 中池見湿地の保全と新幹線建設問題
特集2 国内希少野生動植物種「アユモドキ」の保全：
亀岡市の競技場建設に関連して

Volume 35
Number 1
June 2013



関西自然保護機構
Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

中池見湿地のミズトラノオ

写真・文 笹木 進

中池見湿地では3,000種を超える動植物の生育・生息が確認されている。集水域を含めてもわずか87ha（ラムサール条約登録範囲）という狭いエリアに、多様な動植物が生育・生息する。湿地部分は約25ha。かつて水田であった湿地は“絶滅危惧種の博物館”と称される。このミズトラノオは中池見湿地を代表する水生植物で、環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類、福井県域絶滅危惧Ⅰ類である。8月中頃から開花し、9月いっぱい、紫色の可憐な姿を湿地の至る所で見ることができる。

写真：2001年9月2日撮影

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。